

平成22年5月能代市議会臨時会

市長説明要旨

平成22年5月能代市議会臨時会の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

はじめに、お詫びとご報告を申し上げます。去る5月6日、本市職員が公然わいせつ罪の容疑で秋田臨港警察署に逮捕され、同月14日に秋田簡易裁判所から罰金20万円の略式命令を受けました。職員には、公務外においても公務員としての立場を自覚した言動をするようこれまでも機会があるごとに繰り返し注意を喚起してまいりましたが、このような事態に至ったことは誠に残念であり、深くお詫び申し上げます。

この職員の処分については、事実を十分に確認したうえで、厳正に対処してまいります。今後二度とこのようなことが起こらないよう、職員一人ひとりが高い規範意識を持ち信頼の回復に努めながら、市民の負託にこたえてまいりたいと存じます。

次に、去る4月18日に執行されました市議会議員選挙におきまして、たいへん激しい選挙戦を乗り越えて、ご当選をされました議員各位に心からお祝いを申し上げます。厳しい選挙戦のなか、当選をされましたのは、皆様の市政に対する熱意と努力が多くの方々のご支持を得た結果であり、深く敬意を表する次第であります。

私も、市長選挙におきまして、引き続き2期目の市政を担当させていただくことになりました。この議場におきまして、市民の代表である皆様と議論を交わしながら、能代市の市勢発展に取り組んでいけることを光栄に存じますとともに、身が引き締まる思いであります。どうか皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

市長選挙にあたり、私は、マニフェストを掲げ、その実現を訴えてまいりました。市民の皆様のご理解を得て、市政を担うことになりましたので、その実現に向けて、先人から受け継いだ地域の資源を生かし、能代らしい産業の振興をめざし、農林水産業や木材産業振興とともに、新たな産業の創出などに取り組んでまいります。

また、次代を担う子ども達のため、教育環境の充実に取り組み、安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、自然環境や伝統文化などを将来に引き継ぐことができるようまちづくりを進めてまいります。

新しい能代市が誕生して4年が経過しました。私は、能代、二ツ井の一体感の醸成のため、地域の発展のため、その環境整備に取り組んでまいりました。この4年間で、まちづくりに主体的に活動する市民の力が芽吹いてきておりますので、市民の皆様との対話を大切にし、総合計画で将来像に掲げた“わ”のまち能代の可能性を信じて、勇気をもって新しいまちづくりに踏み出す覚悟で職員とともに誠心誠意努力してまいります。

本日は、議長、副議長、各常任委員会の委員長、副委員長等の選挙が行われました。選任されました皆様には、心からお喜び申し上げますとともに、今後のご指導とご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。

それでは、提出議案についてご説明いたします。

議案第45号は、市道路線の認定及び廃止についてであります。寄附等により市道路線を認定及び廃止するため、議会の議決を求めるものであります。

また、教育委員会委員の人事案件もあわせて提案しております。

このほか、承認議案として、専決処分した平成21年度能代市一般会計補正予算、能代市市税条例の一部改正、平成22年度能代市一般会計補正予算等6件を提出いたしております。

詳細については、提案の際ご説明いたしますので省略させていただきます。

以上、よろしくご審議のうえ、適切にご決定を賜りますようお願い申し上げます。